

栄八通信

ハートコミュニケーション

第 13 号



武雄市議会議員
発行者 宮本栄八
武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,200部

14710 月末発行

データファイル 武雄市の各事業 実質トップ 部長を市民に紹介

昨年夏からの部長制導入により市長から、権限と予算裁権を一部もらい、部門のトップに立ち配をふるい、議会答弁でも、担当の約四割ぐらいの質問に對しても応答する重要なポストだ。
現在、市長と市民の対話が、武雄市はもとより、各地で行われて

(注)石・牟・本・副・中は歴代市長の石井・牟田、本山、副島、中野の時代の意

古庄市政『結果オーライ』 市長具体策のない分↓職員自主性生む

今後 部長への指示・評価を適格に！

「対話と公開」取組み順調

私は前回の通信で、「市長の正しさ」「具体策の不足」「行動力への不安」を三月議会を終えての感想として書いていた。ただ、『対話と公開』の政治については明確だった。その具体策の「ふれ合い市長室」も今、六月議会前に約束どりに実施され、各種団体とも精力的に、対話の機会を作られていくことへの行動力は評価したい。市長選の時に減った体重が維持されていると聞くので、県議時代より頑張られているようだ。

最近、企画情報課の情報管理室も、活発な動きで、「市政モニター」の募集・実施も急速に進められていて、私も、まだ、市政モニターへの役割や、どんな所を調査するのかは知らない。一方、情報公開条例制定へも動き出した。

市民病院も動き出す

①特老などの福祉との総合整備
②近隣自治体との共同経営
を目ざすと前議会で明言された。

動いた結果、①については、やはり、県の特老整備順位の関係で同時整備はできない。②について

H10年度予算も一定の評価

は、北方町からは、あっさり断られ山内町も積極的ではないとのこととで、結果的には変化なし。しかし、年間赤字三億円だった前計画を見直し、年平均五千万円赤字となったので一転進展し、市立化へ。

こう見ると、市長が、予算上で自分の意志や住民の声を生かすと言っても、予算総額の約一割程度が実質の裁量範囲と考えられる。

ところで、古庄市長は、積極財政論で選挙を戦われた関係で、対前年度比がどうなるだろうと関心をもっていたが、四・五%減で、なんだと思う反面、安心もした。ちなみに古庄市長の肉付け予算の内容は二・三面に解説案内している。ここでは、前年度との増減を記す。

議会費	4.9
総務費	▲6.2
民生費	1.0
衛生費	5.4
労働費	0.8
農林費	0.1
商工費	▲37.1
土木費	▲23.2
消防費	5.6
教育費	▲12.8
公債費	10.3
諸支出	44.9

城島剛	教育部長	宮崎修輔	民生部長	古賀滋	総務部長
	H9 民生部長 H元 生活環境課 S60 農業委員会 S56 国土検査課 S53 市民課 S52 福祉事務所 S48 衛生課 " 福祉事務所 S45 税務課 S41 市民課 S38 税務課		H9 水道部長 H7 水道課長 H3 徴収課長 S63 税務課 S57 商工観光課 S54 処理組合 S52 衛生課 S42 農業委員会 S40 保険衛生課 S38 福祉事務所		H9 教育部長 H3 財政課長 H1 総務課D S53 広域圏C S49 文化会館B S48 市長公室A S46 社会教育課 S43 税務課 S41 市民課 S39 税務課
S14年11月25日 陶芸・ゴルフ・野球 〔成せば成る〕 武雄町松原	石 牟 本 副	S15年9月21日 囲碁・卓球・ゴルフ 〔猪突猛進〕 若木町下村	石 牟 本 副	S16年10月7日 釣り・盆栽 〔有言実行〕 朝日町南上滝	石 牟 本 副
所管 学校教育課・生涯学習課 文化情報課		所管 福祉課・健康増進課 市民課・生活環境課		所管 総務課・企画情報課 財政課・税務課	
<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図書館・歴史資料館建設 2 文化会館の管理運営の見直し 3 生涯学習計画の策定 4 スポーツ施設の整備(弓道場等) 5 小中学校施設の整備 		<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育所行革の実施 2 容器リサイクル一時集積所整備 3 介護保険準備と高齢者福祉の計画 4 養護老人ホーム向陽園の見直し 5 武雄病院の経営移譲 		<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政改革の着実な推進 2 3次マスタープラン残り分の実現 3 東部開発の内容の意見集約 4 市職員の意識改革・研修実施 5 情報公開条例制定の準備 	
<p>◎コメント 最近10年間は、保健・環境の元締め市民ゴルフの解説者でもある小人数での話は説得力抜群</p>		<p>◎コメント 部長の中で唯一商工観光課体験者。3年前、本人のせいではないが水道料金上げで、集中放火、「市役所一タフな人間」</p>		<p>◎コメント A武雄駅橋上化 B文化会館開館 C柵藤クリーンセンター建設 D大水害対策などを歴任、最近財政課長が長く、「にこにこシビアー」</p>	
馬場欽一	水道部長	末次正清	建設部長	庭木稜威男	経済部長
	H3 都市計画課長 S56 建設課 S47 農林課 S42 都市計画課 S41 建設課 S40 農林課 S38 建設課 S38 土木課		H9 建設部長 H6 農林課長 H3 建設課 H元 農村課 S61 広域圏 S60 建設課 S47 都市計画課 S38 建設課 S37 土木課 S35 農林課		H9 経済部長 H6 福祉事務所長 H3 農林課 H元 市長公室 H62 社会教育課 S45 農林課 S42 西川登支所 S38 税務課 S36 西川登支所
S15年5月8日 囲碁・釣り・ゴルフ 〔誠実〕 武内町多々良	石 牟 本 副	S14年12月23日 球技・菜園 〔即断・即決〕 北方町大崎	石 牟 本 副 中	S15年6月18日 家庭菜園 〔和〕 西川登町庭木	石 本 副 中
所管 水道課		所管 建設課・都市計画課		所管 農林課・商工観光課 競輪事業課	
<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 西部広域水道(H13)給水への対応 2 広水の配水地の用地交渉 3 " (ユースホステル横)造成工事 4 " 配水地から武高前の本管への配管 5 広水(北方)→橋→配水地への配管 		<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国道34号・県道498号・西山線・多々良線 2 武雄・高橋線各道路の整備、溝上線(保養村)の道路整備 3 松浦川、東川(橋)水害対策の方針決定 4 土木積算事務、入札契約事務等のOA化 5 区画整備に伴う、審議会の設立、事業計画の策定 6 高架に伴う、住民交流現場事務所の設置 7 区画整理事業担当職員の研修・育成 8 高架事業、国・県・JR等との連絡調整 9 公共下水道基本構想策定の〔準備〕 		<p>〈今年部長の達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中心市街地活性化基本計画策定 2 競輪事業の168億円売上達成 3 武雄市観光計画(懇話会)の集約 4 棚田整備 5 畜産・園芸の活性化 	
<p>◎コメント 暗中摸索の高架・区画、整理事業担当として、7年間担当責任者、地元説明会でも、多々良弁で信頼する。(黄=きな)</p>		<p>◎コメント 学者肌で理路整然。目標も短縮不可のこと</p>		<p>◎コメント 農林課に数10年のベテラン神職の為か声が良くカラオケプロ並商工観光所管でお祭で見かけること多し</p>	

企画・総務 財務・税務



事業費 14億1,200万円
市支出 12億8,700万円
(総務部)

永松面浮立への補助

コミュニティ助成事業補助250万円

武雄温泉駅前付近の永松区の若手が地域活性化の為に、栄若会を組織し、数年前、面浮立の復活を



温泉まつりでも活躍された。今回も活躍された。今回も活躍された。今回も活躍された。

助役車の買い替え

購入費242万円

十数年前の市長車が、現在の助役車になっていくセドリック。今回、広い用途に使えるように、



予定ワゴン

二千cc・白・ステーションワゴンの条件で入札すること。黒塗り高級車でない所は、行革の影響か。

行政改革懇談会

謝礼金23万円

武雄市の行革は、日七、日十一年度までで、スタートも、この市民代表による行革の懇談会からで、今回、中間地点として再度意見を聞く。また、昨年十一月に国より職員の数値目標を



行革は年1回報告あり。市民の意見を聞く。

情報公開条例の職員視察

255万円

オンブズマンの活躍と共に各地で制定されている、情報公開条例は、市長や議員の資産公開や交際費・食料費の使い方に関心が多いのが現状だが、もっと大切な事は情報の公開による、市民参加の行政の実施にある。

ホームページの開設

経費59万円

もちろん、インターネットに、武雄市の観光案内や情報をのせる。現在までは、市職員の個人のホームページを利用して。今回、ホームページとEメール(電子郵便)も開設。四、六月までで千三百件のアクセス。Eメールは、まだ、三件で返事を出すという。

市内コンピューター網の整備

リース料900万円

①【二〇〇〇年、対応】の為にプログラム変更。
②【庁内ランの構築】現在は、伝票を処理する財政課から、支払いをする会計課のみ、コンピューターがつながっていたが、今後各課がパソコンを設置するために、基本的な本線を開設し、接続コネクタを各所に配備する。

ただ、今年度は、会計課に一台、財政課に三台の計四台を設置して入力等の練習をし、庁内に広げる時のアシスタントをまず育成する。
③【財務会計システム更新】これは今後、各課のパソコン端末から、財政課へ予算支出などが伝票を回さずでき、予算要求も可能らしい。
④【家屋評価システム】建物の柱やカベのデータを入れると、固定資産税額がすぐ出るらしい。

福祉・生活 健康・環境



事業費 36億3,400万円
市支出 22億7,000万円
(民生部)

高齢者の実態・要望調査

謝礼金184万円

日十二年度、介護保険開始の為に老人の生活・健康・福祉サービを利用などを、民生委員さんに市内六十五才以上全員と四十、六十才の中から六百人、計七、六〇〇人に、アンケートしてもらった。民生委員さんに対する調査の謝礼で、調査紙については、県で作成する。施設等は職員で対応。

保育所地域活動事業

補助金200万円

市立保育所ハケ所と小鳩・花島・ひまわり・光の園の私立四園の計十ヶ所で、独自の内容で、「世代間交流事業」をする。事業費の二〇〇万円は、県と国からの全額支出金。個性ある事業を期待。

出張検診用車購入負担

230万円



市の一般検診の時、眼底検査器や心電図の機械が乗った車で、武雄杵島地区の医師会館に配置してあるが、老朽化の為買い替える。一台、二百三十万円もするが武雄と杵島郡七町で分担する一方、競輪関係の補助金も利用する。

高齢者交通安全事業

70万円

総務庁からの全額補助金で行う市内老人から約九十人に、武雄自動車学校の協力を得て、研修会を行なう。特に、夜間の交通安全対策などを、現場研修の形で行う。

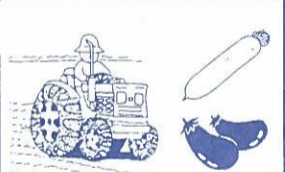
弁護士会館建設負担金

10万円

議員からは、何れ県弁護士会の業界団体の会館に、市から負担金を出さなければいけないのかの声。佐賀市内のビル三・四階に入居する四千六百万円の費用の約一割を県と市町村で負担することが、県の市町村会で決まったらしい。理由は、人権擁護や消費者被害救済などの活動拠点となるからという。

これは、唐津に予定されている公共と民間による三セクの産業廃棄物処理施設の支出と同様に県が音頭をとった法令外負担金等にあたるという。今後増える予感。

農業・林業



事業費 8億9,400万円
市支出 4億9,100万円
(経済部)

米作担い手育成補助金

1,306万円

●四条用米刈りコンバイン七百万円の1/2補助を、三台分。武内町の(東梅野・西梅野)(若木町)農区。
●ライスセンター低温倉庫整備。桶町の米倉庫にクーラーの親分のようなものをつけて、温度管理。

大豆生産地形成補助金

583万円

●大豆専用コンバイン二台分について1/2補助する。対象農区は(花島区)(東川登町)

園芸に対する補助金

736万円

○お茶の自走式刈り取り機の十台分の1/2を補助する。

畜産に対する補助金

1,244万円

○牛の肥育農家の牛舎・推肥舎等への1/2補助、農区は(若木町)と(桶町)



四条用コンバイン



桶ライスセンター



茶の自走刈機



大豆専用コンバイン

棚田の畦畔整備

6,024万円

簡単に言うと、若木の八幡岳ふもとの川内・管牟田地区の棚田の石垣の上に、コンクリートで縁を作って、水もちを良くする事業。



昨年度整備上川内

ため池の整備

633万円

碑の裏堤の改修で場所は、下西山のひまわり保育園よりさらに奥に入って二段堤の上の方、事業補助率が良いので毎年老旧順に整備している。(約九割は国県支出)

県道の整備事業負担金

8,012万円

①県営農面道路整備事業
②県営ふるさと農道緊急整備事業
というのがあり、この二つの事業は同じ一本の道であり武内、繁昌線といって、武内の飛龍窯の横付近から山越えて朝日町の杵藤クリンセンターのある繁昌の公民館(すいかの露店)付近に出る。

柏岳保全林の関連

用地・補償費1,878万円

整備は県事業だが、用地は市で確保する。大半は、川内区より年間約三十万円で借地するが、一部の道路用地は市が買収し、また借地上の立木を川内区から買い取って整備するようになっていく。

私は、元農林課長が、市の公園的意味合いもあると言われ、以前にあった柏岳開発構想から、ふれあい公園を考えていた。改めて県農林事務所からもらった資料を詳しく読むと、山歩きコースと作業用道路と広場が柱となっている色合いが濃い事業と解った。しかし、金立にはバンガローが整備され、太良は、アスレチックやサクラ広場があるらしい。県内約二十ヶ所が整備済なので、もう一度各地を研究しようと思う。



3工区の繁昌付近。高架区画や市民病院で優先性は薄れた。

商工・観光



事業費 4億1,700万円
市支出 1億8,800万円
(経済部)

中心市街地活性化

基本計画策定1,000万円

北部市街地の今後の「まちづくり」「商店街」のあり方を計画する。予算の内訳は次のとおり。

- ◎コンサルタント費 八五〇万円 (人件費三三三万円・諸経費三三万円・技術料一三五万円・消費税四十万円)となっている。
- ◎計画書印刷費 一〇〇万円
- ◎策定委員等謝礼・雑費五〇万円

議会では、多額のコンサルタントへの発注が、本当に有意義なのか? 国も、今までの計画書をまとめたもので良いと言っているし、日三年、二千万円かけた武雄市商業ビジョンの後も三つも計画書が作られているなど議論もあった。市としては、高架区画を加味ししかも、即実行できる内容のものを作成するらしいので期待したい。

佐賀空港ロビー電照看板

173万円

横二m二〇・縦一m三〇であり製作費三五万円、年間、電気料が約一〇万円・場所代が約一三〇万円ぐらゐの支出が必要。どこに設置してあるかは知らない。



市民の方も一回見に行つては

北部商店街支援補助

500万円

商工会議所に、補助金を支出するが、昨年は、「あきない会」や勉強会に使われた。今年は「北振協」で使われるらしい。もっと北部商店全体での活用が必要では。

観光トイレ設置

3,180万円

梅林と武雄神社・柄崎の大楠の観光客の為に、武雄神社前の空地に作る。いつも問題になるのが観光トイレの金額の大きさであるが、そもそも、これは、県が観光地にふさわしい立派なトイレを作る時に、半額を負担する制度で、しかも三千万円が限度なので県内同じ程度の観光トイレになる。ただ、事業費の半分は浄化槽代である。現在、市役所前と宮野町夢木の二ヶ所に設置済み。

今回、議論になったのは、広場の奥に作るか、表に作るかだった。



宮野町トイレ

観光パンフレット作成

410万円

現在ある、本型とマップ型の二種類を増刷する。ちなみに一冊の単価は、約百円と六十円。

保養村パンフレット作成

24万円

保養村に、船員組合保養施設のみなど荘があるが、このような、一般の人も宿泊できる、保養所を再度、誘致活動に動き出すのと、その為にパンフレットを作成する。設置場所は、アネックスの奥や元ほうらい荘の上のあたりを考えていると言ふ。

建設・都市計画



事業費 12億3,100万円
市支出 6億9,700万円
(建設部)

鉄道高架事業への負担金

2,375万円

高架は県事業で、今年度二億円が予算化されていて、約十%を市が負担する。事業としては、区画整理外の東は小楠から本山酒販、西は松原交差点から堂島交差点付近までの、測量・設計など行う。

土地区画整理事業繰出し金

890万円

区画整理は、特別会計を作つて別収支される。八九〇万円は、区画整理の地区内の範囲の正確な線引きと、移転補償費などを計算し、ピア(橋脚)や側道などの位置の決定などハード面の実施計画書を作る。ただ、だれがどこに移るとかの問題には関係ないとのこと。繰出しの金額は、作業費が国の補助で足りない分を出した。

都市計画図修正版作成

100万円

保養村整備事業

9,200万円

①エントランス(入り口)整備
色レンガ(インタロックキング)を敷く。また、飛龍窯で焼いた市民の作品でカベを作る。二千万円
②駐車場を宇宙科学館前に一六六台分を市が整備する。六千万円
③案内板、総合案内二枚(ポート乗り場・科学館前)小看板五枚を設置する。千二百万円。ちなみに、道路大看板は、完成後に、県と共同で作成すること。

市道(武雄高橋)線整備

4,700万円

この道路は、甘久のデイリー付近から旧長崎街道に入り、栗原住宅前を通つて朝日小学校までだが、今回は、栗原住宅の丘陵の下まで。ここは、私もこれまで、栗原住宅建て替えと同じにすべきと言つて来たので大変嬉しい。たぶん、住宅街の障害の多い道路を市が単独で整備するのは、温泉新道以来ではないかと思う。それは数mで済むのに何年もかかった。今回は住民の協力を願ふ。



武雄-高橋線
船瀬橋

高橋の船瀬橋かけ替え

1,100万円

高橋の信号を朝日小の方に入つたらすぐ川が横切つているが、その川辺りに道路があるが、それを拡幅する為、昔からある、石のたいこ橋を解体して、平面の橋に架け替えると言ふ。

地元希望ならやむをえないが、以前、市のホープ計画では川と歴史を生かした高橋がえがかれていた。解体した石組みは廃棄しない何か活用してほしい。

花島・永島地区排水路整備

2,500万円

当地区は、最近住宅地化して、以前の農用水路から、市街地型の水路整備が必要になって来て、いる。今回、白岩球場近くの創価学園裏の水路を整備する。



住宅地の基盤整備も必要

教育・文化



事業費 23億2,700万円
市支出 15億2,300万円
(教育部)

武内小校舎改築

2億6,300万円

木造と鉄筋の二棟あるが、今年木造を来年鉄筋を解体するが、同時に二年間で、新校舎を作る。通常、鉄筋は大改造で対応するが耐震調査で不適となったため解体すると言ふ。今回、若木小のように木造平屋にならなかつたのは敷地が少ないからで、鉄筋二階建て。



武内小
川登中

川登中大規模改造

(耐震) 1億8,000万円

図書館歴史資料館建設

1億6,160万円

いよいよ、八月に建設業者の入札があり、九月議会の承認をへて建設に入る。日十二年オープン。

橘小学校グラウンド拡張

3,000万円

学校給食民間委託

(朝日小・橘小) 4,700万円

すでに、武雄中・御船小・武雄小は実施中で計五ヶ所となる。

給食室改築

(武雄中・川登中) 1億5,500万円

蘭書の保存修理

290万円

今度できる図書館歴史資料館の目玉として、武雄の蘭書を展示する予定である。この蘭書は、武雄鍋島家から、武高窓会が、以前にかのお礼としてもらつていて、これまで武高の図書館の一室に保管してあったが、幕末維新期で古くもあるが、雨もりで水をかぶつていて、開くのもあぶないものもあるようだった。百科事典風の装丁のものが一三八冊ある。

文化会館空調機更新

2億2,720万円

文化会館も築二十年がたち、外装はここ数年で整備、今回、老朽化している空調機を買い替える。現在、冷房は電気です水を作り暖房は、重油ボイラーで温水を作り、それにファンで風を送っている。今回、両方を灯油ボイラーにする。その理由は、電気を押えることと環境重視からという。何で、ボイラーで冷えるのかと調べた所、リチウムブロマイドという物質を熱し濃縮すれば、それが元にもどる時、大量の気化熱をうばい、循環水を冷却するらしい。また、大ホールの吹き出し口も客席に近い低い所に替え効率化。

スポーツリフレッシュ

5,700万円

二年間でスポーツ施設整備する。昨年、テニスコートを人工芝へ。今年、弓道場を体育館横に移転新築、二八mの近的に六〇mの遠的追加。



生涯学習推進計画書 策定費2000万円

6月定例議会 6/5～6/24

私の一般質問

1 広報公聴の現状と今後の進め方

A 開催や参加の方法を明確に
B 広報公聴の一元管理が必要

A さっそく、「ふれ合い市長室」が、西川登公民館で第一回が開催され、一応の評価はしている。

ただ、私は、井本知事のふれ合い懇談会のように、農業・商業・会社員・サークル活動や、老若男女が、各一回ずつは発言する形と考えていた。しかし、今回の、西川登町は各種団体の長が中心で、市長と建設部長が市の事業を説明し、質疑応答されたようである。

その後、市のコメントとして、「本日は車座でやりたかった」「年に各町七ヶ所を回りたい」とあったが、いずれにしても、会のスタイル、参加・発言のシステムが、市民に明確に示されていないと思う。

また、もし各地で要望があった事を次年度予算に組みこもうとすれば、十一月までには各町でのふれ合い市長室が一巡するように計画するなどの、開催スケジュールも明確にする必要がある。

B 現在、広報公聴に関しては、石井市長時代からある、留守番電話での「はい、こちら市長室です」一対一で市長と話す「市長と語るう」があり、民生部市民課の相談係が行なう。今回の「ふれ合い市長室」は総務部企画情報課の情報管理室が担当をして、別々に宣伝している時もあり、後者での一元対応、処理管理が必要だ。

【回答主旨】
A 開催方法は現在決めていない。B 公聴の一元化は必要と考える。

2 女性審議委員はどう増加する

各課方式から市長指示に

市民の声の反映方法に、現在、審議会や懇話会などがあるが、総じて、各種団体の長が当て職として割り当てられ、どの会も同じ人が顔を合わせる事が多く。しかも、団体の長としての発言か個人としての発言か明確ではなく、行政の案の追認機関やかくれみのになりやすいとの指摘もあり各自自治体でも改善に努力している。その方法として、①女性委員の登用②一般公募③団体の長でなく推薦する者でも良いなど、佐賀市・伊万里市・鹿島市でも取り組まれている。今回は、女性登用についてだが、以前、私の質問に市は、審議会を所管する各課が、各々女性委員の増加を実現するとの答えだったが、ほとんど増加していない。やはり、各課方式には速効性がないので、古庄市長は女性の声を聞くが公約なら、市長が増員目標を指示し、実施すべき。

3 第四次マスタープラン策定準備の内容

【回答主旨】
年次目標や数値目標を立てて、実施するよう指示する。

4 福祉サービスのビデオ作成と施設見学の件

今年度、H十二年から介護保険導入にあたっての、高齢者の生活状況や介護サービスの利用意向を調査することだ。私が以前を調査することだ。私が以前を調査する中心にアンケート調査で実態把握をするよう求めたが、その時、それをしない理由に、福祉サービスの内容を十分に知らない高齢者にアンケート取っても、結果が本当に実体を反映しているか疑問で意味がないとの答えだった。

今回、県内統一の中でアンケート調査するならば、私が提案した時の問題点である、福祉サービスの内容を高齢者に、理解をしていた必要があると思う。これまで、二回も「福祉のあんない」の厚い冊子を配布してあるが、写真やさし絵など一つもなく、文字ばかりで、高齢者に解りやすいとは思えない。そこで、武雄テレビなどの協力を得て、福祉サービスのビデオを作成して、テレビ放映したり、公民館で勉強したりして理解を高めるべきだ。

また、実際に希望者には、福祉施設の見学等も実施してはどうか。

5 在宅サービス拠点の施設整備への考えは?

【回答主旨】
「いろいろな方法で理解を高めるように勤める。」とのぼやけた答え。

今年度は、三次計画の棚卸し、反省、評価作業を行なう。来年度は、策定作業に入る。

今年度、H十二年から介護保険導入にあたっての、高齢者の生活状況や介護サービスの利用意向を調査することだ。私が以前を調査する中心にアンケート調査で実態把握をするよう求めたが、その時、それをしない理由に、福祉サービスの内容を十分に知らない高齢者にアンケート取っても、結果が本当に実体を反映しているか疑問で意味がないとの答えだった。

今回、県内統一の中でアンケート調査するならば、私が提案した時の問題点である、福祉サービスの内容を高齢者に、理解をしていた必要があると思う。これまで、二回も「福祉のあんない」の厚い冊子を配布してあるが、写真やさし絵など一つもなく、文字ばかりで、高齢者に解りやすいとは思えない。そこで、武雄テレビなどの協力を得て、福祉サービスのビデオを作成して、テレビ放映したり、公民館で勉強したりして理解を高めるべきだ。

また、実際に希望者には、福祉施設の見学等も実施してはどうか。

6 総合福祉センター建設は(いつか?)

【回答主旨】
介護保険導入前にすべき

前の答えで、在宅サービス拠点整備の必要性は確認できた。また、昨日、弘田議員の福祉会館建設の質問に答えて、建設すると明言された。武雄市の場合、福祉会館と保険センターと在宅サービスセンターを各々作らず効率良く総合で作る計画となっている。それなら、介護保険導入前に早急に建設すべきではないか?

私は、あまりの整合性のない答えで、介護保険開始前までにすて整備すべきと追求したら、答えられずに議会が空転した。非常に大切な問題なので、答えを待たないで次回に再度問う。

【回答主旨】
H十一年度に老人福祉計画を見なおすので、その後考えるとの答え。

私は、あまりの整合性のない答えで、介護保険開始前までにすて整備すべきと追求したら、答えられずに議会が空転した。非常に大切な問題なので、答えを待たないで次回に再度問う。

7 芸術家招聘事業の(アーティスト・イン・レジデンス)方針は?

【回答主旨】
観光活用と市民交流を

今年度も、外国から陶芸家を中心として武雄で創作活動が行なわれる。昨年からは始まったわけだが、初回ということもあって、市民との交流や観光活用は不十分で今回は、その点を成功させるべきで、その方策として、市街地の空店舗や、広場での創作活動をしてはどうか?

【回答主旨】
芸術家の募集にあたって、文化会館の個室を授えることを条件に案内板を入れていく。今回は無理だが広場や公園でのイベントなどは、できるような努力をする。

【回答主旨】
今回は、市長の下の指揮官である部長の紹介と古庄市長の肉付け(投資的)予算の中身を案内した。十分の意をつくせなかった。今までのレイアウトを変えたので内容のわりに苦戦した。ただ今回、やってみて、もっと予算支出内容を、肉付け部分だけでなく全体、一二五億円についても、お伝えする必要がありますと気づいた。

しかし、単に金額と事業名を羅列しても理解しがたい。今後武雄テレビでの行政広報の内容充実の映像・パネル・図面などを利用して予算や事業内容を広報すれば市民の政治参加は進むと思つた。

一方、私は、市立化が打ち出された病院問題が、これまで赤字問題が中心だったので、救急体制や医療内容も研究し、また自分なりの財政計画案も考えてみたい。

やっぱり、動き出した 東部開発問題

【回答主旨】
もともと、東部地区は、新たな武雄市の開発すべき地区としてマスタープラン等でも示してあり、また、高架区画事業に伴う商店や住民の移転先の一つとしても考えられていた。以前より、地元商業者の一部や、オサダも将来の出店先として対応して来られたと思う。そこで、すんなり東部開発が進めば問題はなかったのだが、その途中にイズミ(夢タウン)が用途地域の変更に合わせて急に進出して来たため、市の計画に合わせて来たオサダは、はつきり言って割を食ったのは確かだろう。そこで、オサダも東部地区に複合商業店舗立地計画を正式に出された。

その後、鉄道高架区画整理事業の都市計画決定への条件として、東部は北部再開発に逆行する商業の立地は調整すると石井市長は明言されていた。

今回、オサダは、前計画の内容を変更する形で、再度出された。

【各専門店集積はせず、オサダ現店舗の移転拡張の形を取る。】
【東側に、武雄区平原のオサダ商品物流センターを移転させる。】
【地元出店希望者のミニ商店街は新店舗内のテナント部分に集約。】
【バイパスに面した、アミューズメント予定地区は、オサダの出店計画からは、はずす。】
以上だが、古庄市長は、この案を北部商店主等に意見を聞きながら東部開発についての結論を出したいとのこと。

編集後記と今後のプラン

今回は、市長の下の指揮官である部長の紹介と古庄市長の肉付け(投資的)予算の中身を案内した。十分の意をつくせなかった。今までのレイアウトを変えたので内容のわりに苦戦した。ただ今回、やってみて、もっと予算支出内容を、肉付け部分だけでなく全体、一二五億円についても、お伝えする必要がありますと気づいた。

しかし、単に金額と事業名を羅列しても理解しがたい。今後武雄テレビでの行政広報の内容充実の映像・パネル・図面などを利用して予算や事業内容を広報すれば市民の政治参加は進むと思つた。

一方、私は、市立化が打ち出された病院問題が、これまで赤字問題が中心だったので、救急体制や医療内容も研究し、また自分なりの財政計画案も考えてみたい。

【回答主旨】
明確な方針を示すべき

現在の老人福祉サービスは、所得額により自己負担額が高くなる為、サービス利用者は、低所得者が大半である。しかし、今度の介護保険では、所得に関係なく一割負担で良いため、中高所得者が、どっと福祉サービスを受ける可能性があると思う。

そこで、特に在宅サービス拠点整備については、私は以前から、施設整備のおくれが、武雄市民の不利益、「保険あつて介護なし」の状況にならないようにとお願ひして来た。当時の福祉事務所長は、「福祉施設が十分完備できていないと、あつてはならぬが、サービスの差が出る危険がある。そういう心配がないように、たとえ未整備でも、その運用方法等については十分に対処すると考える。」との答弁があつてはいたが、そんな運用方法でどうにかできるわけはなく、やはり必要な施設は整備すべきと思うが市の考えはどうか?

【回答主旨】
当時、十分に介護保険の中身が解らず答えた。整備は必要。